



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima



世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹 秀篤
第3グループ
ガバナー補佐 齋藤 栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

第3117例会 2024. 5. 15

—— 雑 誌 月 間 ——

天 候 晴 (NO. 60-46)

会 長 馬場正春 幹 事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 吉澤君、山口君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 馬場会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓 話 熊坂汐莉様

【入会式】

◎新入会員紹介

新井君

服部融亮(はっとりゆうりょう)会員：飯能RC在籍21年のベテラン。真言宗智山派本部より招集があり、京都で4年間お勤めされてきました。1959年5月生まれ。89年1月より「観音寺」住職。「飯能幼稚園」理事長。95年、飯能JC理事長。00年、飯能RC入会。雑誌、会員増強、プログラム、職業奉仕、親睦活動、環境保全、社会奉仕、クラブ奉仕の各委員長を務める。総本山智積院の教化部長と執事もされ、今年3月、任期を終え、再入会となります。「ヤンチャーズ」ではギターとボーカルを担当。また何かの機会に聴かせて頂ければと思います。よろしくお願ひ致します。



◎服部会員挨拶

伝統ある飯能RCに入会させて頂き、ただただ感動しておりますと20数年前にも申し上げました。当時「金蔵寺」の総代さんから「ちょっとおいで」と言われて即入会となったわけですが、今回は「観音寺」総代の新井会員のご紹介で入会させて頂きました。浦島太郎のようので皆

様からいろいろご指導賜りましてロータリーライフを送らせて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

◎馬場会長よりバッジ装着／歓迎の言葉／神田幹事より会員証贈呈・所属発表「社会奉仕」／高橋RC情報委員より資料贈呈／記念撮影／乾杯：中里(昌)パスト会長

【会長報告】

最後の夜間例会は親睦活動委員会の皆さんにいろいろ企画して頂き、私の余興も手伝って頂いて、有難うございました。

各地の「子ども食堂」について2日続けてテレビのニュースでやっていて、関心をもって観ていました。昨年社会奉仕セミナーで深谷RCが熱心に取り組んでいることを知りました。高丹ガバナーや会長の寺田さんとも非常に仲良くなりまして(「テラさん」は昭和30年6月生まれ。私と一緒に)、子ども食堂をどうやっているのか聞きました。深谷、深谷東、深谷ノース、児玉、岡部と、深谷の5つのRCで運営していて、深谷の199の自治会に「書き損じハガキ」「プリペイドカード」等を収集してもらい、それらをRCがまとめて手続きして現金化し、社協を通して8つの子ども食堂運営団体に割り振っているとのことでした。「自治会への御礼はしなくていいの？」と聞くと、深谷の人はよいことをするのだったら一生懸命協力すると言ってくれているのだそうです。ただ、年賀はがきを書く人が減っ

ていて、昔は140万円位集まったのが今は70万円弱で、これからの課題だそうです。

60周年の飯能RCに何か支援できることはないかということで「カプリチョーソ」の熊坂様に本日は卓話を頂きたいと思ひます。

【幹事報告】

第12回理事会を開催。7月より会報制作費が1頁につき600円の値上げとなります。6/5第13回理事会。5/29年度最後のパスト会長会議。6/19・26クラブ協議会。日程変更希望のある方は用紙をご提出下さい。クールビズで5月、10月はネクタイ不要、ジャケット着用。6月～9月はネクタイ、ジャケット不要。年々暑くなっておりますので体調管理に努めて頂きたいと思ひます。

【委員会報告】

- ◎親睦活動委員会 天ヶ瀬君
5/18「親睦家族旅行」は南口5:40集合。
- ◎環境保全委員 大野(康)君
5/14付「文化新聞」にも掲載されましたが5/2飯能RCから市・教育委員会「環境教育」に対し10万円の寄付。贈呈式を行いました。5/26(日)「飯能新緑ツーデーマーチ」参加の方には私の連絡先を当日までにお知らせします。
- ◎会計 市川君
各委員会で未清算の経費は早めに申し出て下さい。会費未納の方も何名かいらっしゃいますので年度内に納めて頂ければと思ひます。
- ◎次年度幹事 大崎君
次年度第1回理事会の案内を配付。6/5(水)13:40～通常例会後の開催です。本日「年度計画書」原稿締切。よろしくお願ひします。

【出席報告】無届欠席2・MUO 大野(泰)出席向上委員長

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出席数	出席率
65名	4名	52名	80.00%

【結婚・誕生日祝】 小谷野親睦活動委員

- ◎入会記念日おめでとう
吉田(武)君、田中君
- ◎結婚記念日おめでとう
福島君、加藤君、町田君、田中君、大崎君、森田君
- ◎会員誕生日おめでとう
田中君、吉田(行)君、鈴木(勝)君、服部君
- ◎夫人誕生日おめでとう
土屋夫人、沢辺夫人、吉田(行)夫人

【SAA報告】

- ◎ニコニコBOX
・再入会させて頂き感謝申し上げます。服部君、熊坂様、卓話よろしくお願ひします。
都築君、森君、神田君
- ・服部さんお帰りなさい。再入会おめでとうございませう。本橋君、坂本君、神田君、新井君、加藤君、中里(昌)君、矢島(巖)君、吉澤君、前島君、伊澤君、市川君

- ・妻の誕生日祝ひ有難うございませう。
土屋君、吉田(行)君
 - ・結婚誕生日祝ひ有難うございませう。
町田君、加藤君、田中君
 - ・飯能グリーンCCの理事長杯で2回目の優勝をすることができました。 小谷野君
 - ・誕生日祝ひ有難うございませう。
田中君、吉田(行)君
 - ・入会記念祝ひ有難うございませう。 田中君
 - ・早退します。 内沼君
- 本日計60,000円、累計額886,501円。
◎29日例会当番は岩泉、皆川会員です。

【卓 話】

講師紹介 都築青少年奉仕委員長
神奈川県鎌倉市生まれ、在住。お茶の水女子大学を卒業後、現在同大学大学院に在学中。専攻は認知心理学。山梨県の「森のようちえん」で飯能市の粕谷彩葉(さよ)さんと出会う。幼なじみでもあった粕谷さんが「カプリチョーソ」の代表者になっています。熊坂さんは2021年5月、「カプリチョーソ」立ち上げに参加。地域の居場所として双柳で「きまぐれ駄菓子屋」の運営を開始。同年10月に法人化、理事に就任。昨年4月から双柳行政センターで「子ども食堂」の運営も行っています。

子ども食堂を実施して思うこと

一般社団法人 カプリチョーソ 理事

熊坂 汐莉(しおり) 様

簡単に自己紹介からさせて頂きませう。お茶の水女子大学心理学科在学中に保育士資格を取り、今春から大学院で心理学、と言ってもカウンセリングとかではなく、実験等でヒトの脳や知覚のしくみを調べたりしています。趣味はジャグリング、ダンス、写真撮影。ジャグリングは高校、大学と部活、サークルでやっていて、ダンスも10年位習っています。

「カプリチョーソ」は2021年5月に幼なじみの粕谷と私で立ち上げ、その後、友達づてにメンバーを増やしていき、10月に一般社団法人化しました。東京都世田谷区二子玉川での活動を経てから、2022年秋に「きまぐれ駄菓子屋」を立ち上げ、運営を開始。2023年春には保育に携わる大人向けの学習会を実施したり、同年6月からは月1回「子ども食堂」を実施したりしています。現在、これらの開催に当たっては、当団体のメンバーだけでなく地域の皆様と共に運営をしています。

「きまぐれ駄菓子屋」は双柳小学校の近く、「マチダ文具店」だった家屋を利用しています。駄菓子が買えるだけでなく、奥には座敷があってボードゲームとかが置いてあるので子ども達はそこで遊んだり、宿題をしたりできる場になっています。

今年度は週1回程、日曜日か土曜日にオー



プンしています。

「きまぐれ御飯部」が子ども食堂のことで、双柳地区行政センターで月1回程度開催しています。その場でボランティアが作った昼食を無料で提供して皆で食べる場になっています。

その他にも、(双柳小学校区)「おやじ組」の方々にもご協力を頂いてモルックを外でやったり、科学教室等のイベントも行ったりしています。また、その場でご飯を食べるだけでなく、パントリーとしてジュースとかレトルト食品の配付も行っています。

活動の様子です。科学教室でドライアイスの実験をしているところ。モルックで遊んでいるところです。

どうしてこんな活動を始めたのかということですが、学校、家以外の**第3の居場所**を作りたいというのがまずありました。

粕谷と私は学校がとっても嫌いで、清里(山梨県北杜市)の「キープ森のようちえん♪」という所で出会ったのですが、その後も小学校のうちはずっと(「清泉寮自然学校」)の小学生向けキャンプに行っていました。そういった場所があったからこそ、元気で、学校が嫌いだったけれども楽しく、ある程度生きて大人になってこれたのではないかな、というふうな思いがありまして、そういった学校以外の場所を作りたいと二人共思っていました。

そこで、気軽に来られて、楽しく、安心できると思える場所を作りたいということで団体を立ち上げました。「カプリチョーソ」という名前は音楽用語で「**気まぐれに**」という意味です。子ども達がマイペースにありのままに居られる場所でありたいという思いからつけました。

もう一つは、気軽に話すことができる**斜めの関係**を作りたいというものです。

キャンプの場で私達は大人や大学生の方々とたくさん話をしたり甘えたりしました。そこがあったからこそ学校も頑張れたというのがあったので、そういった学校以外の場に居る大人に私達になって、嫌なことだったりとかも気軽に話せるような関係を作れたらいいなというふうに思っております。

活動をしていて感じるのが大きく2つあります。

1つは、**継続の重要性**。斜めの関係でいろんなことを話してもらえたら嬉しいという思いはあるのですが、やはり信頼関係を一回きりの出会いで作ることは難しく、何回も関わって、関わりが継続してこそ「この大人は信頼できるかも」「この人だったら話してもいいかも」と思ってもらえて、嫌なことだったり、こういうことがあったんだよ、というのを話してくれる信頼関係が作られるのかなと

強く感じています。

もう1つは**地域との繋がりの強化の重要性**です。道ですれ違った時も話しかけられるような、地域の知り合いが増えていくことが大事なのではないかなと活動を通して強く思います。そういった知り合いが子ども食堂や駄菓子屋を通してできて、その後も関わりが継続していくことで、例えば災害時や何かあった時に気軽に助けを求められるようになっていくのではないかなと思います。

地域との繋がりについて、私達がいくつかやっていることがあります。

1つ目は「**つながるチケット**」です。これは大人がこのチケット(10円、50円、100円)を購入して、そこにメッセージを書いて頂くものです。子どもはボードに貼ってある未使用のチケットを使って駄菓子を買うことができ、チケットを使った子はお礼のメッセージをそこに書いて、大人が来た時にそれ見ることができるというしくみになっています。駄菓子屋で子どもがお金を持っていなかったら奢ってあげたいと思いますが、こちらの人間がそれをするにはできないので、そういったところを地域の方々にやって頂くというのが一番大きなメリットで、さらに地域に交流が生まれるということもとても大きなメリットだと感じています。

2つ目は**個人や地元企業様からの寄付**です。1つにはアマゾンの「**ほしい物リスト**」を活用した寄付をお願いしています。子ども食堂で使うビニール手袋等の消耗品をリストに登録しておいてそれを買って頂き、アマゾンから送ってもらうというしくみです。また、**子ども食堂のスポンサー企業**になって頂いて寄付を頂いたりドーナツを頂いたりしています。子ども食堂の時には「おやじ組」やボランティアの方々等、大人もたくさんいらっしやるので、**募金箱**を置いたり、**口座**への寄付も受け付けています。

さまざまな場面での**ボランティア**もとても大きな繋がりなのではないかと思っています。私達も人数がそれ程多くなかったりするので、特に子ども食堂ではボランティアさんにテントを準備して頂いたり、調理をして頂いたり、子ども達と一緒に遊んだり、科学教室で楽しく学んだりして頂いています。駄菓子屋も週1回開けるとなると私達だけでは回らないところもあり、地域の方にボランティアとして店番に来て頂いたりしています。

今後についてですが、去年まで私達全員学生だったのですが、今年代表の粕谷が社会人に、私も大学院生になり、このままでは継続が難しいということもあり、現在子ども食堂や駄菓子屋を定期的に手伝って頂いているメンバーで「**地域福祉推進組織**」というものを立ち上げようと協議しています。団体としてのカプリチョーソはフェードアウトして、地域が作り上げていく活動に移行していくことで

地域の繋がりがさらに育って飯能の地域力が上がっていったらいいのではないかなと思っています。「子ども達の居場所を作りたい」というところから始まり、駄菓子屋、子ども食堂を立ち上げ、それを地域で作るという形に移行しているというのが今のカプリチョーズです。

普段の活動のようすを皆さんにもっと知って頂きたいので、興味をもって下さった方が居たら是非SNSやHPをご覧ください。SNSは私が担当して結構頑張っています。

LINEオープンチャット「双柳応援隊」には駄菓子屋の开店情報や子ども食堂の内容等、カプリチョーズからの情報だけでなく、地域で他のプレイパークをやっている方、子どもに向けて教室をやっている方々からの情報も入ってくるので、地域の皆さんの情報交換ができる場にもなっています。

また、実際にお店や子ども食堂に遊びに来て頂けると嬉しいです。予定については各種SNSやHP、LINEオープンチャットで流しています。「午前中しか手伝えないんだけど」「午後だけちょっと覗きに行きます」でも大歓迎です。ボランティアを大・大・大募集中で、一度実際に足を運んで頂いて「いいな」と思ったら是非ご協力下さい。駄菓子屋については例えば仲間内で何人かで来て、駄菓子を売りつついろいろ持ち込んでお茶とかしてお話する場にして頂いても結構です。子ども達に提供するだけでなく地域の居場所というふうになればいいかなと思っています。ご活用下さい。「この日にボランティアをしたい」等ありましたら事前連絡(HP掲載メール、SNSのダイレクトメッセージ)も受け付けていますし、連絡無しで来られても大丈夫です。

寄付も大募集中です。子ども食堂のために材料を買ったり、パントリーでレトルト食品やお菓子、ジュースを皆に渡したり、消耗品もありますので、そういったものに寄付を当てさせて頂きたいと思っています。

《質疑応答》

★活動資金はいくつかの助成金で大部分賄っています。どうしても足りない部分もありますし、ボランティアの方への謝礼等はお渡しすることはできないので、その部分はそれぞれの持ち出しというふうになっています。

★ボランティアで一番多いのは「おやじ組」の方々です。SNS等で興味をもって下さって来られる方もいらっしゃいます。「おやじ組」は50、60代位の方が多いいかなと思います。

★(学生で立ち上げたのは)子ども時代の自分の経験が一番大きいと思います。キャンプでは仲がいい友達と会えて気軽に話せて、甘えられる大人が居て、「学校、嫌い」と言っても共感してくれたりする友達や大人が居て、そういう場所にすごく救われたわけです。ただキャンプは非日常の場であって(普通は)行かないというか、それを知る事もなかなか難しかったり1泊2日で山梨まで行くのもお金が

かかるわけで、全員が行けるわけではありません。「居場所」を作るからにはもっと気軽に来られる場所を、ということでこういう形になったというのがまずあります。また、学校以外での大人という場合、大学生は年の近いお兄さんお姉さんという感じで、しゃべり易いというのがあったので、そういった大人になればいいのかなというのがありました。

★(「御飯部」は)いつも駄菓子屋に来ている子が学校で仲のいい子と一緒に来たりします。こういう人でなければ提供できないという縛りはありませんので、家族で来られる方も居ますし、地域の方、誰でもOKというふうにしています。昨年、双小でインフルエンザが流行った時にはテイクアウト方式にしたので、近所の子に持って行っていいよ、というふうにしていました。

★(パントリーは)「御飯部」のある時にその場で配付しています。寄付で頂いたりしてたくさんご飯があったりする時には駄菓子屋でお渡しすることもあります。基本的に駄菓子屋ではパントリーはやりません。「御飯部」の時に、家族だったりとか子ども達だったりとかがお菓子やジュース、レトルト食品等を持ち帰って、例えば「親の帰りが遅くてご飯が食べられない」という時に食べてもらえたらいいかなというふうにしています。

★お金の寄付のほかにもう一つ。駄菓子屋にボードゲームがあるとお話ししましたが、地域の方から頂いた物が多くあります。子どもが大きくなって遊ばなくなったとか、きれいな参考書だったりとか、私も大学受験に使った参考書とかを置いたりして、それで子ども達が遊んだり、勉強したりしています。

★(「きまぐれ駄菓子屋」は)双小近くの「マチダ文具店」をお借りしています。今は週末ですが「平日だったら開けられる」という方がいらっしゃるなら申し出て頂ければお貸しして開けて頂くこともできます。こちらの都合で今は週1回程なので「もっと開けていけたらいいな」というのが、居場所としての目標ではあります。



2024年6月のプログラム (月間テーマ 親睦活動月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
6. 5	3120	卓話「伝説ある飯能ロータリークラブ」 飯能RC パスト会長 細田吉春会員	鎌田君 安藤君 クラブ奉仕
6.12	3121	卓話「(米山記念奨学生卓話)」 西武文理大学 西武文理大学 (富士見RC) ローテイクインちゃん様	新井君 天ヶ瀬君 米山記念奨学
6.19	3122	【ロータリーの友】 クラブ協議会	永安寺君 藤原君 会長・幹事
6.26	3123	クラブ協議会	福島君 細田(伴)君 会長・幹事